

2025 くすのき
VOL.36

樟 樹 会

樟樹会 新潟県西高等学校同窓会

校内こんなところ(こと)ご存知ですか? ● 第20回 ●

・全国大会優勝記念プレート

令和6年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技に出場した秦萌々菜さん(令和7年3月卒)は、スナッチで74kgを挙げ、優勝しました。また、クリーン＆ジャークは3位、総合成績では2位と好成績を収めました。その栄誉をたたえ、本館東側壁面に記念プレート(90cm×60cm)を掲げています。ご来校の際には是非ご覧ください。



・今どきのクラスマッチ "モルック"

皆さん、モルックというスポーツをご存じでしょうか。フィンランドのカレリア地方の伝統的なkyykkä（キイッカ）というゲームを元に、1996年に開発された比較的新しいスポーツです。モルックという棒を下から投げ、スキットルという数字が書かれた木製のピンを倒していきます。モルックを投げて倒れたスキットルの内容（1本だけ倒れるとそのスキットルに書かれた数字が得点となり、2本以上倒れると倒した本数が得点となります）によって得点を加算していく、先に50点ピッタリになれば勝ちとなります（50点を越えた場合は25点に減点され競技が続けられます）。本校では、令和5年度の3学期クラスマッチから競技として採用されています。老若男女を問わず気軽に参加できるのも魅力です。皆さんも折りあらば、挑戦してみてはいかがでしょうか。



50年目の卒業式

瀬浪 悅子
(昭和50年卒)

午前10時、吹奏楽部と合唱部、音楽選択コースの1年生による生演奏の「威風堂々」が流れる中、卒業生たちが引き締まつた面持ちで入場し、厳かに卒業式が始まりました。卒業証書授与に続き各賞の授与、校長先生の祝辞、送辞と進むにつれ、はるか年の離れた後輩たちが、いかに素晴らしい充実した高校生活を送ってきたかが伝わり、改めて西高の素晴らしさを感じました。

村上貴洋くんの答辞では、コロナ禍の中、マスクで素顔の見えないクラスメートと共に入学し、黙食で会話ができない高校生活のスタートだつたけれども、様々な行事を通して繋がりを深めてきた様子、ご家族を始め、回りの人たちに対する感謝の言葉が語られ、式後、出席した同期生41名はみな一様に感動したと話していました。

改めまして、「ご招待ありがとうございます」とうございました。そして卒業生のみなさま、おめでとうございます。その後の同期会では「おとなの文



会長挨拶



樟樹会会長

せの お 妹尾 次郎

昭和55年卒

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

令和7年は、昨年とは違ひ穏やかな幕開けとなりました。4月には、大阪・関西万博がスタートし、国内のみならず世界各地より多くの観光客が押し寄せ、賑わいを創出しているようですが、その経済効果が日本各地へ広まることを期待しております。5月21日には、新居浜から3台の太鼓台が派遣され、見事な寄せ太鼓を披露し、新居浜と太鼓祭りを大いにPRすることができます。

さて、今年も2月28日に同窓会入会式が行われ、新たに280名（全日制269名、定時制11名）の卒業生が加わりました。また、3月1日の卒業式では、同窓会賞を3名（全日制2名・定時制1名）に授与いたしました。そして、昨年再開致しました「50年卒業式」へは、昭和50年卒の先輩方をお招きしました。ご参加いただきまし

た皆様ありがとうございました。来年は、昭和51年卒の皆様にご案内させて頂く予定ですので、何卒、よろしくお願い致します。

同窓会本部では、昨年8月に総会・懇親会を盛大に開催致しました。ご案内が遅れることもあり、例年に比べ参加者が若干少なかつたように思えましたが、先輩・後輩・先生方と楽しく、懐かしい時間を過ごすことが出来ました。（今年は、8月2日に開催予定です。）

各支部におきましては、6月1日に東日本樟樹会の第17回総会が盛大に開催されました。また、近畿くすのき会は、11月8日に第29回総会を開催される予定と聞いております。ご都合のつく方は、是非ともご参加いただき旧交を温めて頂きたいと思います。

結びに、同窓生の皆様方のご健勝とご多幸を、そして母校の更なる発展をご祈念申し上げ会長挨拶とさせて頂きます。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。



校長挨拶



校長

ひの 野 右子

昭和59年卒

樟樹会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申します。また、日頃から母校新居浜西高等学校に対して、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私も西高で勤務する最後の年となりましたので、悔いの残らぬよう一日一日を大切に、母校のため、生徒たちのために力を尽くしてまいりたいと思っております。

昨年度は新教育課程の生徒が大学を受験する最初の年となり、新科目への対応も含めて一層熱心な進路指導が行われた結果、国公立大学現役合格者157名、うち難関10大学と医学部医学科で21名と、前年度に続く優れた成果を上げることができました。特に、東京大学1名（現役では12年ぶり）、京都大学3名、東京科学（旧東京医科歯科）大学医学科1名など、トップレベルの生徒の頑張りが目立ちました。また、特別活動においても、全日制・定時制とともに多くの生徒が全国大会に出場するなど活躍し、運動会や二日間開催とした西高祭などの校内行事も西高らしい盛り上がりを見せてくれました。文武両道を実現する生徒たちのおかげで充実した

た教育活動が行えていたことを大変ありがとうございます。

さて、今年度は全日制に251名の新入生を迎えて3学年で754名、定時制には11名の新入生を迎えて4学年43名となり、全校生徒797名でスタートしています。全日制では、初の特色入試には148名という非常に多くの志願者があつたものの、一般入試では受検控えの傾向が見られ、3年連続して定員割れとなりました。県立学校の統合や再編により、近隣でも新校や新学科・コースが次々と誕生する中で、本校が地域の期待に応え、必要とされる学校で在り続けるために、魅力ある学校づくりに一層力を入れる所存です。

新たな取組としては、オンラインによる総合型学習支援サービスを導入し、到達度の測定やその結果に基づく課題の配信など、家庭学習の個別最適化を進めております。また、昨年度本格的にスタートした探究活動におきましても、生徒たちは自ら選び、設定した課題の研究に意欲的に取り組んでおりました。この活動が生徒たちの社会への関心と進路意識を高め、実践力や行動力を養い、未来を拓く真の力を育成するものとなることを願っております。

既にご案内のとおり、引き続き本校はこの探究活動を支えてくださる同窓生の方を募集しておりますので、ご登録いただけましたら幸いです。今後とも後輩たちへのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

生 にわたり活躍されている するコーナーです

介

Profile

昭和47年 愛媛県立新居浜西高等学校普通科卒業
昭和53年 神戸大学医学部医学科卒業
愛媛大学医学部眼科学教室入局
昭和55年 十全総合病院眼科勤務
昭和61年 西之端眼科院長



そのべ
みき
園延
美記

故郷の新居浜に戻つて眼科クリニックを開業してから早いもので38年。もうすぐ40周年を迎えます。この40年間の医学の進歩は目を見張るものがありますが、私が一番衝撃を受けた医療機器はOCT(光干渉断層計)でした。OCT検査とは、近赤外光を利用して患者さん自身に負担無く、眼底の断面図をミクロンレベルで撮影できる非常に画期的な検査で、緑内障や糖尿病網膜症、黄斑変性などの様々な目の疾患の、早期発見や精密な検査が可能となりました。因みに、緑内障は中途失明原因の1位、糖尿病網膜症が3位、黄斑変性が4位と我々の目の健康に大きな影響力を持つ疾患ばかりです。

このようなOCTの様々な機能の中でも、特に私が注目しているのが緑内障の早期発見です。緑内障とは、何らかの原因で視神経が障害され視野(見える範囲)が狭くなる病気で、眼圧の上昇がその病因の一つと言われています。治療せずに放つておくと失明につながることもある病気です。緑内障は皆さんのが想像されているより非常に多く、40歳以上の人々の20人に1人、70歳では10人に1人とされていますが、なんと9割の方が気づいていないと考えられています。緑内障は、初期には自覚症状がほとんどありませんので、早期発見には検査しかありません。この時役立つのがOCT検査で、視野がまだ欠けていない極早期の緑内障(前視野緑内障)も見つけることができるようになりました。

緑内障で失われてしまつた視野は、現在の医学では回復できません。でも逆に言えば、自覚症状のないうちに発見し、そこで治療によ

り、進行を抑えれば日常生活に不自由を感じることなく生活できるのです。OCTを当院に導入して10年以上経ちますが、私は未だに時々「君はほんとに賢いな」と啖いてしまいます。

ここまで40周年を前にして、最近の眼科診

療のエポックメーキングな出来事についてお話しさせて頂きました。アニバーサリーといえば、ちつちつなクリニックのたつた40年の当院と並べては恐れ多いのですが、三越が創業350周年を迎えました。創業は1673(延宝元)年。第4代将軍徳川家綱の時代です。因みに5代将軍徳川綱吉の「生類憐みの令」は1685年でした。特別な1年を記念する数々のモノやコトの中に文春文庫「時ひらく」があります。本の装丁をご覧になつて「あれつ三越だ!」と思われた方はいらっしゃいませんか?「時ひらく」は、創業350年の「老舗百貨店・三越」を舞台にした短編小説集。三越の包装紙をモチーフにした美しい1冊になりました。戦後間もない1950年、世の中を少しでも明るくできることを目指し国際的な画家、猪熊弦一郎氏に、包装紙デザインを依頼しました。当時、百貨店の包装紙といえば印刷も地味なものでハトロン紙が主流だったそうです。猪熊氏は千葉の大吠埼を散策中に海岸で荒波に打たれている石を見て、「波にも風にも負けず頑固で強い」と「自然の作る造形の美しさ」をテーマにしようとイメージして制作されました。また、印象的な赤の色はこれから時代は包装紙

も自分(百貨店)をアピールするような強いものでなければならぬとの理由から「スキヤパレリ

「レッド」を使用されたそうです。(初めて聞くことなく生活できるのです。初めて聞く色の名前です)そして、出来上がった作品を受け取りにいったのは、当時三越宣伝部の社員だったやなせたかしさん。そう、あのアンパンマンのやなせたかしさんです。さすが三越! ビッグネームがバンバン出て来ます。やなせ氏が「mitsukoshi」のロゴを書き入れて「華ひらく」と名づけられた日本の百貨店初となるオリジナル包装紙が誕生したのです。「時ひらく」の執筆陣は、辻村深月・伊坂幸太郎・阿川佐和子・恩田陸・柚木麻子・東野圭吾の6名。包装紙に負けない豪華なメンバーが揃いました。

一つ一つの作品の内容はネタバレになつてしまうのでここでは書かずにおきます。ただ東野作品にはまさかの湯川教授と草薙刑事が登場です。どの作品も、華やかな表舞台とは違う知られざる三越の側面や、そこで働く人々、そして訪れる人々の温かい人間ドラマが描かれていて、読後感は爽やかで心温まる作品です。最後に「元祖カリスマ書店員」間室道子さんの書評を二言。「本書は日本を代表するこのデパートが昨年創立350周年を迎えたのを機に企画されたもので、名うての作家6人が短編を書き下してある。私の考えでは、『うちの県に三越はあるません』『二度も行つたことはない』では無視できません」二度も行つたことはない」とはいふべきで、その文庫にはあ





Profile

平成3年 愛媛県立新居浜西高等学校普通科卒業
 平成7年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業
 朝日放送(現朝日放送テレビ)入社
 平成29年 東京支社編成部長
 令和元年 東京支社編成部長
 令和4年 (株)ABCアーカー代表取締役社長

そのべ みつる
園部 充



大学では体育会ではなかなかものの野球を続け、1995年、「熱闘甲子園」という番組を制作している大阪の朝日放送(現朝日放送テレビ)に入社しました。スポーツ部に配属された私はプロ野球、高校野球、ゴルフが主な担当で、希望していた「熱闘甲子園」に関わることもできました。2011年からは東京支社編成部という所に異動となり、そこでは全国の放送局の東京支社の方々と仕事をすることになります。その後、いくつかの部署を経て、

に入ることもあります。進学校でもできるんだという所を見せられたと思っています。

先輩、同期、後輩に恵まれ、県でベスト8に入ることもあり、進学校でもできるんだ

という所を見せられたと思っています。

文化面、産業界など各界 同窓生をご紹介

野球が繋いでくれた縁

2021年4月から現

在の株ABCアーカーと
いう朝日放送テレビの
子会社に出向し、代表

取締役を務めています。この会社で月刊誌「歴史人」を発行しているのですが、雑誌の発行と共に重要なミッションが「歴史を活かした地域貢献」、各地に眠っている歴史資産を掘り起こし、活性化につなげようというものです。以上が略歴ですが、ここから、野球が繋いでくれたいくつかのご縁について紹介させて頂きたいと思います。

1 この原稿の依頼

当時の野球部顧問村上敏之先生が「歴史人」を読み、そこで私の名前を見つけ、同窓会誌「樟樹」の編集委員に紹介し、編集会議で私が推薦されました。会議に出席していた高校の野球部の後輩清水君から連絡を受けた次第です。

2 愛媛とのつながり

系列局の愛媛朝日テレビは現在、甲子園に出場した球児が8名いるそうです。同じ愛媛で球児だったことから、東京支社時代、仕事は当然の事、プライベートでも仲良くして頂いています。同局は高校野球を通じて地域に貢献したいという思いも強く、弊社が行っている地域貢献と通ずることもあり、今でも一緒にプロジェクトを計画している間柄となっています。もしかしたら2025年年末に一つの形になるかもしれません。

3 栗山英樹さんとのご縁

今、雑誌業界は非常に厳しく有名な雑誌が次々と休刊となっている状況です。「歴史人」の売り上げを伸ばさなければなりません。奔走している最中、1本の電話がかかってきたのでした。「園部君、今『歴史人』を



や同期、後輩とも繋がりますし、遊んで頂いたり、ミーティングをさせてもらったりする機会もあります。3年間野球部で頑張った事が今になつていろんな繋がりを生んでくれたと改めて思う次第です。

歩み

頼もしい仲間たちと

いしかわ こうた
剣道部 主将 石川 煌汰



私たち剣道部は、男子10名女子3名計13名で日々練習に励んでいます。今はたくさんの部員がいて恵まれていますが、私たちが入学する前は部員が3名と少ない人数で活動をしていました。私は入学する前から剣道部に入部希望でしたが、他の部員のほとんどが悩んでいたり、他の部活動を希望したりしていました。しかし、前主将の先輩と諦めずに勧誘し、経験者のほとんどが入部しました。今では後輩を含めた仲間たちと、男子はインターハイ出場、女子は四国大会出場を目指しています。

私たちは小学校から剣道を始めて、一緒に稽古をして育ってきました。そのため、全員仲が良く部内の雰囲気はとても良いです。稽古が終わったら後は、男女関係なく話し、あつという間に時間が過ぎるということがあります。稽古では、技を磨くために先生から教わったことを自分多々あります。稽古では、技を磨くことで強度を高めて稽古に励み、部員同士でアドバイスや意見交換をしながら一生懸命精進しています。妥協することなく真剣に取り組んでいため、時には衝突することもありますが、この衝突のおかげでより相手のことを深く知ることができます。技術的な悩みや、試合前におこる不安に対してもお互いに励ましあえる最高のチームに成長しました。私はそんな頼もしい仲間たちのおかげでチームを一つにまとめやすく、自分のことにも集中して取り組めることができます。

そんな稽古の成果もあって、男子は昨年の県新人大会と県選抜大会で3位に入ることができました。初戦から強豪校相手でしたが、誰一人として諦めることなく挑むことができ、とても苦しい戦いでしたが勝つこと

ができました。女子も県大会で個人、団体ともにあと一歩で四国大会といふところまで成長することができます。男子は四国大会出場が決まりました。そこで、より実践的なメニューを新しく取り入れ、県大会での反省を自分たちで話し合い、充実した中身の稽古をすることができました。彼らはリーグ戦の2試合目までは県大会とは違つて周りのレベルは高くなっています。会場には緊張感が漂っていました。その空気にのみ込まれてしまつた私はこのままでは稽古してきたことが試合に出せないままになつてしまつたと思います。そこで周りの仲間たちと試合の反省をし、対策を立て、気持ちを入れ直して3試合目に臨みました。そのおかげで、3試合目では自分たちの良さが出来始め、チームとして納得のいく勝ちを収めることができました。結果とし



ては悔しかつたですが、四国大会に出場して、自分たちの成長を感じることができます。これが、これから課題を知ることができる良い機会になりました。

「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という、剣道を通じて心身を鍛え人間性を向上させます。先生への挨拶や、送迎をしてくださる保護者の方々への感謝を忘れず、試合にも礼儀正しく臨んでいます。

私たち剣道部は、試合で「正々堂々」ができます。女子も県大会で個人、団体ともにあと一歩で四国大会といふところまで成長することができます。男子は四国大会出場が決まりました。そこで、より実践的なメニューを新しく取り入れ、県大会での反省を自分たちで話し合い、充実した中身の稽古をすることができました。彼らはリーグ戦の2試合目までは県大会とは違つて周りのレベルは高くなっています。会場には緊張感が漂つていました。その空気にのみ込まれてしまつた私はこのままでは稽古してきたことが試合に出せないままになつてしまつたと思います。そこで周りの仲間たちと試合の反省をし、対策を立て、気持ちを入れ直して3試合目に臨みました。そのおかげで、3試合目では自分たちの良さが出来始め、チームとして納得のいく勝ちを収めることができました。結果とし



部活動



未来へ羽ばたく インターラクト部

弓山 賀子
インターラクト部 部長

ゆみやま かわ賀子

インターラクト部は、奉仕と国際理解を主軸とするロータリークラブにより提唱された。高校生のための社会奉仕クラブだ。新居浜西高校のインターラクト部は昭和41(1966)年に四国で最初に創部された。過去に英語部や社会研究部と合併し、現在は様々なボランティア活動に取り組むボランティア部門、英語でディベートを行うE.S.S.部門、地域の魅力と自治問題の探求に取り組む社会研究部門の3部門で連携しながら幅広い活動を実施している。年に一度、四国のインターラクターが集い学びを深める年次大会にも参加し、ロータリークラブのご支援のもと、花の種配布活動などのボランティアや、短期海外留学に行く青少年交換プログラムにも携わってきた。

他にも、幼児・児童への読み聞かせボランティア、児童への学習支援活動、西高で学ぶ交換留学生との交流も毎年行っている。前年度、エストニアから来た留学生とは2回交流会を開き、エストニアと日本の文化の違い、学校生活の違いなどの話をした。直接関わることで、本や新聞には載っていないようなリアルな話がたくさん聞け、大変勉強になったと同時に、これこそ本当の国際交流だと感じた。このような素晴らしい経験ができるのも、インターラクト部の強みだと思う。

私はE.S.S.部門に所属しており、年に二度行われる英語ディベートコンテストに向けて日々語学力の向上と準備に取り組んでいる。試合で戦うまでは入念な準備が必要で、私たちは大会に向けて半年以上かけて活動を行っている。論題の研究・分析の後、論題に対する個々の意見を深め、そこから英語での立論作成と主張を裏付けるエビデンス集めを手分けして行っている。また、愛媛県内の出場校同士での練習試合もオンラインや対面で行い、練習

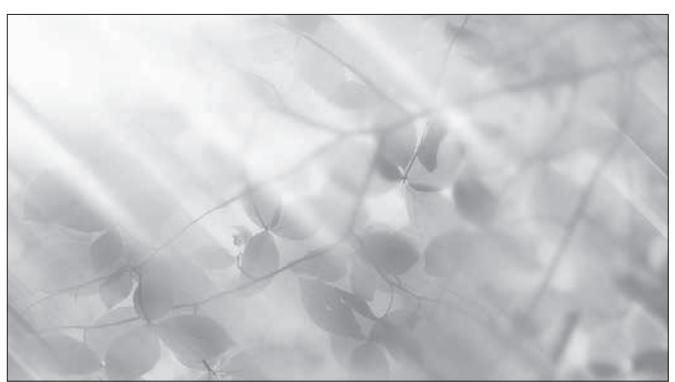
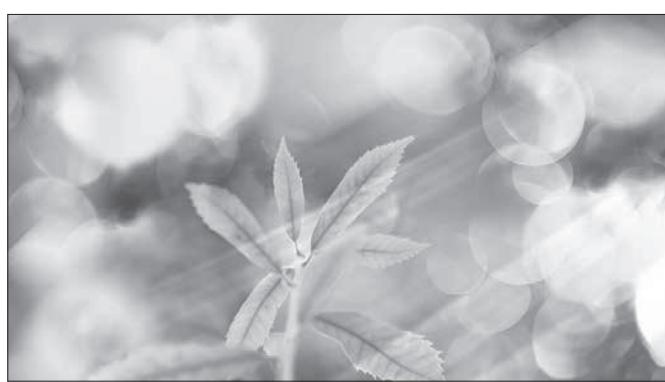
後には参加校や運営審判の先生方からアドバイスをいただき、それをもとに修正・改善を重ねてより説得力のあるものにしていくことをとも励ん



"Now the debate round is over. Please give them a big hand." 試合終了。「1勝はしたいね」と、先輩が発した言葉で迎えた英語ディベート大会。結果は予選を1位で通過、準決勝まで勝ち進むことができた。振り返ると、初めての試合でとても不安だった私にとって隣に先輩が座っている一緒に試合に出る同級生のTくんがいてくれたことも、大きな心の支えになっていたと感じる。みんなでつかんだ勝利、私はハイタッチしながら喜んだ。あの時の光景は今でも鮮明に思い返すことができる。決勝に進むことはできなかつたが、例年であれば、あと1回勝てば全国大会の切符をつかめる位置にいた。

初めての大会は、目標以上の結果と大きな感動があった。

今年度も1年生がたくさん入部してくれた。西高といえばインターラクト部と言つてももらえるくらい、仲間とともにさらに盛り上げていきたい。昭和に先輩方が創り上げ、平成令和と繋いできた新居浜西高校のインターラクト部の大切なバトンを、未来の後輩にまでしっかりと引き継いでいきたい。



部活動結果報告

第79回愛媛県高等学校総合体育大会 結果

陸上競技 弓道 インターハイへ

第79回愛媛県高等学校総合体育大会が、5月31日(土)～6月2日(月)まで3日間にわたり開催されました。本校からは総勢217名の選手が参加し、各会場において熱戦を繰り広げました。主な結果は以下の通り。

【陸上競技】

県総体			
男子			
200m	横井大輝	3位	※四国総体出場
1500m	島田悠史	6位	※四国総体出場
3000mSC	島田悠史	4位	※四国総体3位
			インターハイ出場権
3000mSC	佐久間一樹	11位	
5000mW	鎌倉尊	9位	
走高跳	矢葺温大	18位	
走幅跳	富永爽楽	13位	
三段跳	富永爽楽	14位	
三段跳	篠原良佑	16位	
円盤投	松木響世	15位	
ハンマー投	宇根由悟	6位	※四国総体出場
八種競技	佐藤流輝	13位	
八種競技	稻見有真	14位	
女子			
3000m	渡邊未菜	9位	
100mH	高橋莉愛	2位	※四国総体3位
			インターハイ出場権
三段跳	石野花歩	9位	
砲丸投	越智唯愛	19位	
円盤投	藤田和来	17位	
ハンマー投	青野美咲	7位	
やり投	藤田和来	10位	
七種競技	篠崎温菜	12位	

【バスケットボール】

男子		
1回戦	新居浜西	86-88 東温
女子		
1回戦	新居浜西	30-142 聖カタリナ学園

【バレーボール】

男子		
1回戦	新居浜西	1-2 松山聖陵
女子		
1回戦	新居浜西	0-2 八幡浜

【バドミントン】

男子団体		
(森長悠・徳永蒼空・阿部隼也・外山昊太朗・國田脩造・杉山一真・日田峻介・宮崎音弥)		
	第3位	※四国総体出場
男子シングルス	國田脩造 宮崎音弥	ベスト16
男子ダブルス	徳永蒼空・杉山一真 國田脩造・宮崎音弥	ベスト16

女子団体

(福田莉子・酒井里彩子・大澤友香・佐藤葵・大中瑞穂・郭晶・山田ひなた)
ベスト8

女子シングルス

福田莉子 酒井里彩子 ベスト16

女子ダブルス

福田莉子・酒井里彩子 大澤友香・大中瑞穂
ベスト16

【卓球】

男子団体

(塩見純太・森田大翔・進藤憧龍・鈴木日陽・小野陽暉・千葉雄太・安藤佑馬)

1回戦 新居浜西 3-0 宇和島東
2回戦 新居浜西 1-3 伊予農業

男子個人

シングルス 森田大翔 1回戦

ダブルス 横山達也・進藤憧龍 1回戦

女子団体

(國峯美智・福原蓮・近藤美柚・伊東愛未・古川莉子・横井結衣・田中結子)

1回戦 新居浜西 2-3 松山西

女子個人

シングルス 國峯美智 1回戦

ダブルス 國峯美智・古川莉子 2回戦

【ソフトテニス】

男子団体

(渡邊俊輔・沖廣祐斗・伊藤颯汰・有富幸都・宮本恵伍・宮崎快・坂本丈虎・北條響)

1回戦 新居浜西 0-3 松山西

男子個人

渡邊俊輔・沖廣祐斗 1回戦

女子団体

(菅汐璃・塙田咲葉奈・谷野宮奈央・小泉彩羽・一宮雅・土居唯都妃・松崎ゆづき・内山真侑)

1回戦 新居浜西 1-2 川之石

女子個人

塙田咲葉奈・谷野宮奈央

ベスト32

【テニス】

男子団体

2回戦敗退
(堀之内悠太・松木佳哉・秋山樹・大岡龍司・山林太一)

1回戦 新居浜西 3-0 八幡浜

2回戦 新居浜西 0-3 松山北

男子個人

ダブルス 堀之内悠太・松木佳哉 1回戦

シングルス 堀之内悠太 1回戦

【ハンドボール】

1回戦	新居浜西	26-13	松山南
準々決勝	新居浜西	24-21	松山工業
準決勝	新居浜西	19-30	今治西
第3代表決定戦			
新居浜西		26-34	松山東
			ベスト4

【サッカー】

2回戦 新居浜西 0-2 松山工業

【剣道】

男子団体			
1回戦	新居浜西	4-0	松山工業
2回戦	新居浜西	4-1	今治北
準々決勝	新居浜西	0-3	宇和島東
			ベスト8

男子個人

石川煌汰 3回戦

坂元太詩 2回戦

青木祐志郎 田中幹大 1回戦

女子団体

1回戦 新居浜西 3-1 吉田

2回戦 新居浜西 0-4 今治精華

【弓道】

女子団体	予選第11位	予選敗退
女子個人	小野夢音	決勝 第1位
		※四国総体出場 インターハイ出場権

【創作ダンス】

テーマ「あかがねの零落～かつての栄華を求めて～」 13位

【体操】

原妃陽里 跳馬10位、平行棒9位、平均台9位、床9位、個人総合9位
※四国総体出場

【水泳】

400m個人メドレー	白澤航	2位	※四国総体出場
200m個人メドレー	白澤航	2位	※四国総体出場
200m背泳ぎ	酒井淀	7位	※四国総体出場
100m背泳ぎ	酒井淀	4位	※四国総体出場

文化部 大会結果

放送 合唱 全国大会へ

【文芸】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭詩部門
上野莉空 寺田妃利 優秀

【放送】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭放送部門
朗読部門 菊澤昌史 優秀

第49回全国高等学校総合文化祭推薦

稻見玲奈 奨励

ビデオメッセージ部門

「だいだいだいきらい！」 奖励

オーディオメッセージ部門

「舟導唄」 優秀

第49回全国高等学校総合文化祭推薦

第20回愛媛県高等学校放送コンクール新人大会

朗読部門 稲見玲奈 優良

ショートムービー部門

「ラジオネーム：ちーたら」 優良

【自然科学】

えひめサイエンスチャレンジ2024

一般部門出場（物理部）

「ホッチキスの針が紙を貫く圧力の探究」

大西雄稀 伊藤勇磨 富永陸斗

【写真】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭 写真部門

松木飛鳥 奨励

第37回愛媛県高等学校文化連盟写真展

山中涼平 優秀賞

鈴木奏人 西原朔陽 星田光志

平井良汰 加藤和佳奈 奖励賞

下田琴子 審査員特別賞

樋島采奈 三浦蓮 専門部賞

第3回学校制服フォトコンテスト

鈴木奏人 金賞

第13回韓中高校生フォトコンテスト

西原朔陽 入選

同志社女子大学フォトコンテストSEITO フォトコン2024

越智華音 優秀賞

全国スポーツ写真コンクール2024

鈴木奏人 銀賞

第19回アイデム写真コンテスト「はたらくすがた」

星田光志 佳作

高校生フォトコンテストNCAD 2024

井野桃子 最優秀賞

JAMCA PRIZE 2024 フォトコンテスト

学生部門

鈴木奏人 井野桃子 審査員奨励賞

越智華音 加藤和佳奈 篠原咲音 入選

【合唱】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭合唱部門

優秀賞

ハイスクールクワイア参加

(優秀賞-県代表)

第31回愛媛合唱アンサンブルコンテスト&フェスティバル

混声グループ 金賞

女声グループ 金賞

愛媛県合唱連盟理事長賞

【吹奏楽】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭吹奏楽部門

参加

【美術】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭美術・工芸部門

出品、参加

【書道】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭書道部門

森田結愛 奨励賞

第4回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ

西四国大会 優勝

決勝大会出場

第63回愛媛県学生書道展

片山晶子 特選

三好ひかる 市位朋花 森田結愛

梶谷さくら 増田楓 秀作

泉陽愛 小野陽菜 田窪詩 高橋ゆら

間部愛加 入選

【華道・茶道】

第45回学校茶道エッセイ

生徒の部 真鍋陽咲 佳作

【演劇】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭演劇部門

創作脚本賞

令和6年度愛媛県高等学校新人大会 出場

【囲碁・将棋】

第49回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会

男子個人戦

河渕想太 2位

山田陽南太 6位

片上周 9位

第49回全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会

男子個人戦

片上周 ベスト4

河渕想太 ベスト8

山田陽南太 ベスト16

第49回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会愛媛県大会

男子団体戦

河渕想太 片上周 山田陽南太

第1試合 新居浜西 3-0 松山工業

第2試合 新居浜西 1-2 松山東

2位

男子個人戦

片上周 3位

山田陽南太 6位

河渕想太 8位

【インターク】

令和6年度高校生英語ディベート・コンテスト

出場

【有志】

中国四国地区生物系三学会合同大会 2025年度愛媛大会

高校生ポスター発表会「植物分野」

最優秀賞

「クスノキのダニ室の秘密に迫る

～葉の大きさとダニ室の大きさの関係～」

青木祐志郎 岡本侑磨 宮崎遙

山内香音 佐々木柊 神野侑那

令和7年度全国高等学校定期制通信制体育大会愛媛県予選会 結果

陸上競技 バドミントン 全国大会へ

【陸上競技】

男子

100m 越智歩夢 3位 ※全国大会出場

200m 越智歩夢 1位 ※全国大会出場

小野春樹 2位 ※全国大会出場

400m 伊藤脩汰 2位

小野春樹 4位 ※全国大会出場

800m 伊藤脩汰 1位 ※全国大会出場

越智歩夢 2位

三段跳 伊藤脩汰 1位 ※全国大会出場

女子

400m 白鞘怜奈 2位 ※全国大会出場

800m 白鞘怜奈 2位 ※全国大会出場

【卓球】

男子団体3位

準決勝 新居浜西 1-3 未来新居浜

男子個人シングルス

越智椋樹 3回戦

佐藤雄大 3回戦

南部隼門 2回戦

秋月敬心 1回戦

山内聖音 1回戦

女子団体(リーグ戦) 3位

新居浜西 2-3 松山南

新居浜西 2-3 未来松山

女子個人シングルス

星田愛 3回戦

岡部優羽姫 3回戦

岩崎天梨 1回戦

【バドミントン】

男子個人シングルス

田村海斗 第2位 ※全国大会出場

森本佑希 ベスト4 ※全国大会出場

山下達輝 ベスト4 ※全国大会出場

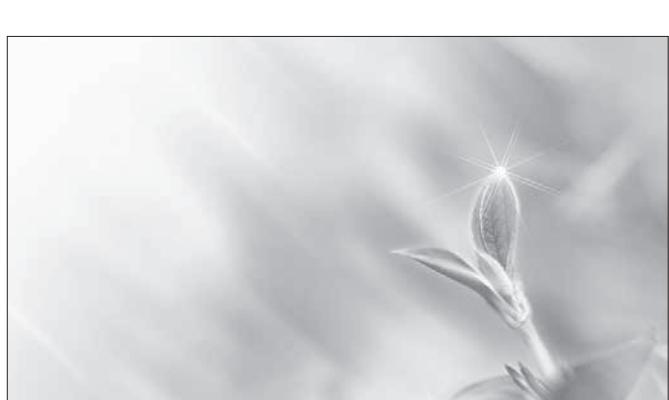
真鍋颯汰 3回戦

橋本大駕 1回戦

政石光希 1回戦

女子個人シングルス

谷口結愛 ベスト4 ※全国大会出場



母校の概況

Niihama-Nishi High School

▼教職員の異動

△転入										△転出											
保育	保育	理数	数学・情報	地政	事務	教頭	I教育支援員	Cスクール	支援員	スクールライ	サポートチー	アドバイザ	事務	芸術	保育	保育	理数	地政	事務	教頭	
河野	伊藤	伊藤	中井	越智	福岡	河村	酒井	山下	渡辺	藤田	亀尾	今井	岡内	大山	城戸	岡野	堀部	児玉	立野	井上	
飛翔	春好	弘美	芳恵	啓介	響	耕一	美穂	太志	一生	彌生	千春	弥生	孝司	夏和	雄貴	佳代	真生	浩志	潤	真一	
新居浜東	新規採用	川之江	松山中央	新規採用	松山西中等	今治西	新居浜商	総合教育センター	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	東温(新採)	今治工	今治西	今治北	三島

山崎	伊藤	永井	藤原	清水	宮崎	塩崎	五味	伊藤	日野	鈴木	藤田	稻見	甲斐	(氏名)	I教育支援員	Cスクール	サポートチー	カウンセラー	準スクール	芸術
達弥	亮輔	瑞樹	彩	靖二	真紀	美都	稔	弘美	右子	一宏	利架	武仁	誠	(卒業年)	スカウト	スタッフ	支援員	カウンセラー	事務	体
平成30	平成16	平成13	平成9	平成4	平成3	昭和63	昭和61	昭和59	昭和59	昭和58	昭和56	昭和52	昭和50	甲斐	今村	溝田	松本	田中	愛夢	
理科	学校補助員	理科	英語	国語	国語	国語	数学	保育	校長	保育	英語	英語	数学	数学	真苗	磨矢	来	平岡	胡桃	新規

▶大学合格一覧

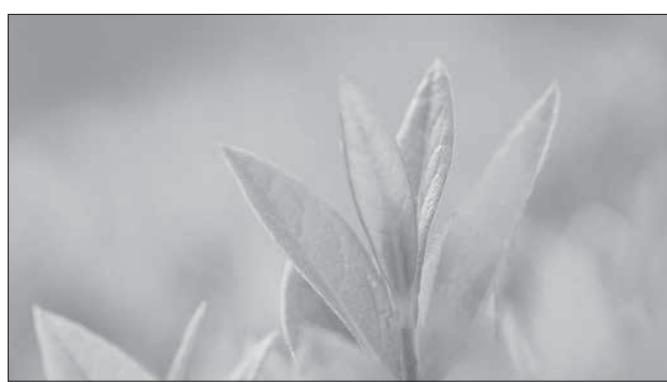
最近3か年の総合格者と、大学別合格者の一部を紹介 ()は過年度生

	令和4年	令和5年	令和6年
国公立大	138(2)	160(13)	157(11)
私立大	421(10)	411(23)	490(21)

	令和4年	令和5年	令和6年
北海道大	0	3(1)	0
東京大	0	0	1
東京科学大	0	0	1
一橋大	0	0	1
名古屋大	1	2	0
京都大	0	1	3
大阪大	9	7	5(1)
神戸大	2	7(1)	7(2)
岡山大	14	22	18
広島大	5	10	6
愛媛大	30	30(3)	22(1)
九州大	2	8(1)	6

▶年間行事予定

月	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
全日本制入学式・1学期始業式・定期制入学式																				
PTA総会																				
1学期中間考査(～16日)																				
県高校総合体育大会(～6月2日)																				
1学期期末考査(～7月2日)																				
西高祭(～12日)																				
定期制運動会																				
2年生修学旅行(～8日)																				
2年生2学期中間考査(～10月2日)																				
県高校総合文化祭(～16日)																				
定期制運動会																				
1学期終業式																				
2学期始業式																				
3学期終業式																				
全日制卒業式																				
全日制卒業式																				
学年末考査(～26日)																				
大学入学共通テスト(～18日)																				
2学期期末考査(～12月3日)																				





見事に寄せ太鼓を成功させました

新居浜の動き

Hello!
NEW

新居浜

2025大阪・関西万博に
新居浜太鼓台が派遣されました



ライブドローイング中の石村さんとお手伝いする水樹さん

四国三大祭りの一つに数えられ、新居浜の伝統民族文化行事である新居浜太鼓祭りですが、5月21日に2025大阪・関西万博に太鼓台が派遣され、その豪華絢爛・勇壮華麗な演技が披露されました。日本で開催される万国博覧会に、新居浜太鼓台が派遣されるのは、1970年に開催された大阪万博以来55年ぶりとなります。また、今回の万博で、単独の市町村としてイベントを開催するのは新居浜市だけです。

10時から19時までEXPOアリーナ「Matsuuri」会場で開催されたイベントでは、公募で派遣が決定した川西地区の口屋太鼓台と中秋地区の岸之下太鼓台。萩生東太鼓台の総勢約800人のかき夫の皆さんのが3回の演技を行い、最終回では、3台による寄せ太鼓が見事に成功するなど、訪れた延べ3万人以上の観客を魅了しました。



子供たちもお祭りに夢中です

問合せ　観光物産課

☎ 0897-65-1261

太鼓台の演技以外にも、観覧者の方々には、かき夫などの体験により、太鼓祭りの雰囲気を味わってもらいました。また、本市在住の画家石村嘉成さんによるライブドローイング、本市出身で新居浜ふるさと観光大使の水樹奈々さんの、「ちょおうさじや」と新居浜市を題材としたふるさと映画「ふたつの昨日と僕の未来」の主題歌「サーキュライト」の熱唱で会場は盛り上りました。

ほかにも、新居浜南高校の生徒さんにによる新居浜市の紹介やダンスグループによるパフォーマンスなど、新居浜の魅力を余すことなく伝えることができたのではないかと思います。同窓生の皆さんも、今年はお祭りに帰省され、ふるさとを満喫されてはいかがでしょうか。

9月20日から23日にかけて、日本スポーツマスターズ2025愛媛大会が開催されます。

日本スポーツマスターズは、全国から原則35歳以上のアスリートが参加するスポーツの祭典です。スポーツ爱好者の中でも競技志向の高いシニア世代を対象とされており、参加者がフェアプレー精神に基づき、お互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、スポーツのより一層の推進を図り、併せて生きがいのある社会の形成と、健全な心身の維持・向上に寄与しようとしています。

この大会は、県内の15市町、32会場において、水泳やテニス、サッカーなど13競技に、約8,000人が参加し、本市では、軟式野球（男）、バドミントン（男女）、ゴルフ（男）が次のとおり行われます。

皆さんも、全国トップクラスのアスリートの戦いをご覧になつてはいかがでしょうか。

日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会が開催されます

問合せ　スポーツ振興課

☎ 0897-65-1306

- 軟式野球（男）
開催日 9月20日（土）
場所 新居浜市営野球場
- バドミントン（男女）
開催日 9月20日から22日（月）
場所 新居浜市市民体育館
- ゴルフ（男）
開催日 9月8日（月）から10日（水）
場所 滝の宮カントリークラブ

還暦を迎えて



懐かしい。すべてがなつかしい。

荒井政森（昭和59年卒）
あらいまさもり



昭和56年に入学した。わずか3年間の高校時代ではあるが、あるときふと思いつけてなにか恥ずかしかつたり幸福な感じだつたりを楽しむことが多い。40年来ずっとそうだ。

入学式の新入生代表の挨拶は自分だった。入学式前にどなたか先生から挨拶の巻物をいただき、そのまま読み上げた。自作のものではないのでいつそのこと気が楽で、なおかつ胸を張っていた。高校に入るときは成績優秀だった。このことを父は喜んでくれた。ブルーワーカーだったが、日襟のついたシャツと慣れない革靴を履き、多喜浜で唯一の時計店で腕時計を買ってくれた。高校生になると腕時計を身に着けるのが当時の入学祝だったようだ。セイコーシャリオだったと思う。非常にシンプルで薄手のものだった。ずっと身に着けていたら汗で錆びたのかベゼルの裏側に細かな虫くい様の洞穴がいくつもできてしまつた。どこにやつてしまつたのか今は所在がわからなくなっている。

高校時代ではあるが、あるときふと思いつけてなにか恥ずかしかつたり幸福な感じだつたりを楽しむことが多い。40年来ずっとそうだ。

入学式の新入生代表の挨拶は自分だった。入学式前にどなたか先生から挨拶の巻物をいただき、そのまま読み上げた。自作のものではないのでいつそのこと気が楽で、なおかつ胸を張っていた。高校に入るときは成績優秀だった。このことを父は喜んでくれた。ブルーワーカーだったが、日襟のついたシャツと慣れない革靴を履き、多喜浜で唯一の時計店で腕時計を買ってくれた。高校生になると腕時計を身に着けるのが当時の入学祝だったようだ。セイコーシャリオだったと思う。非常にシンプルで薄手のものだった。ずっと身に着けていたら汗で錆びたのかベゼルの裏側に細かな虫くい様の洞穴がいくつもできてしまつた。どこにやつてしまつたのか今は所在がわからなくなっている。

ちょうど新校舎が建てられて数年の頃らしかつた。新校舎の最上階がホームルームだつた。それ以前の木造校舎は4才年上の兄がいたころに文化祭で訪問したことがあり、黒く汚れたような木の廊下で革靴でキシキシ歩く先輩方になんとなくパンカラ風だと憧れを抱いていたのだが。自分が入学したら下駄に袴で旧い高校生みたいにしてみたとも思つていたりした。が、RC構造にリノリュームの床、アルミサッシの窓も気持ちの良いものだ。

学担は原先生だった。初日のご挨拶ではお名前が時の皇后陛下と御名が同じであるとおっしゃっていたのを覚えていた。

良子皇后陛下とお誕生日が同じという方が同級しており、同じく代表委員を原先生から指名された。あるとき英単語の話題になり、よくご存じなのはなぜかと皆が尋ねると「子供のころに英単語のルタとかあつたよね。」とのことで幼少期から語学など馴れ親しんで来られたよう



で、自分とは違うよい家庭環境で羨ましく思ったよ。この方はいざれ西高の校長先生になる方だと僕は思つてましたよ。

入学初日だったと思う。「汚れつちまた悲しみ」を譜んじることが高校生の粹だなんて思つていたくらいの僕は級友とのコミュニケーションにも困難さを自

覚していた。まずは席のちかくになつた彼に勇気をだして声をかけた。高校は市内各中学からの出身者なので見知らぬ顔の彼に出身中学を訊ねた。「何中?」文章でたずねるといつた高等技術は毛頭なく、「何ちゅう?」とだけ声を絞るのが精いっぱいだ。彼は首を縋にコクコクとうなづく。もういちど「何中?」と訊ねてみた。「まだ。うんうんとうなづく。あいつばいだ。」彼は首を縋にコクコクとうなづく。もういちど「何中?」と訊ねてみた。「まだ。うんうんとうなづく。あれ、おかしいなど戸惑いながらお互い顔を見あつていたのだが、しばらくして彼はハッとしたような顔でこう答えた。「ああ、南中。」

夏が近くなると高校野球の応援団が

度でも生まれ変わると神は言った』市の図書館にもあるらしいから今度読んでみるよ。

高校時代がなつかしい。ただただ懐かしい。



本部だより

日常が戻つてきました



くすのき文庫



バザー出店

長く続いた新型コロナウイルスによる行動制限と感染対策の日々が、2年ほど前からようやく自己判断に委ねられるようになります。日常生活が戻つてきましたように感じます。

同時に樟樹会の活動も、会誌樟樹編集委員会から始まり、理事会で協議を重ねて、総会・懇親会で老若男女が賑やかに集うことが出来ました。西高祭で、大人気の「合格シール付き西高どら焼き」を販売して生徒会を支援し、「くすのき文庫」に本を贈呈しています。

3月1日の卒業式では、「50年目の卒業式」に68歳の会員が、18歳の卒業生とともに招待されました。なんといつても、同窓会に新たに入会された若人の存在は同窓会の活力源。ますますつなぎを深められるような活動を目指したいと思います。

令和7年度 総会および懇親会のご案内

日 時 令和7年8月2日（土）

総会および懇親会

受付 17:30～／時間 18:00～20:30

場 所 レーイグラツツエふじ

新居浜市高木町3-2 TEL 0897-34-2211

会 費 5,000円（一般会員）

2,500円（平成30年以降卒業会員）

※申し込みは、7月25日までにお願いします。

ご不明点などがありましたら、事務局へお問い合わせください。

樟樹会運営会費ご協力のお願い

リニューアルしたホームページのクレジットサイトからオンラインで納入できるようになりました。是非いちど訪れてみてください。

樟樹会は会員の皆様からの会費により運営されております。

会員交流、母校支援の活動継続のため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

クレジットサイトがオープン

クレジットサイトのQRコードを掲載いたしましたので、是非ご覧ください。



令和7年度 樟樹会事業計画（案）

月 日	会 合 名	事 業 内 容
4月 3日	第1回樟樹編集委員会	「樟樹」36号印刷所承認・概要相談
4月 7日	会計監査	令和6年度会計帳簿類
4月11日	第1回執行役員会	令和6年度事業報告・会計決算監査報告 令和7年度事業計画案・予算案・役員改選 入会記念品と同窓会賞について 令和7年度総会・懇親会開催について・その他
4月14日	第2回樟樹編集委員会	「樟樹」36号原稿依頼先及び担当者決定
4月24日	第1回理事会	第1回執行役員会と同内容
5月12日	第2回執行役員会	令和7年度総会・懇親会開催について・その他
5月12日	第3回樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ(中止とする)
5月19日	第4回樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月26日	第5回樟樹編集委員会	校正
5月29日	第2回理事会	第2回執行役員会と同内容
6月 1日	東日本樟樹会総会	本部から若干名が参加予定 (会場:アルカディア市ヶ谷)
6月 5日	第6回樟樹編集委員会	最終校正
6月12日	西高祭でバザー出店	西高祭で、西高どら焼き販売→バザー収益金を生徒会へ贈呈
7月15日	会誌「樟樹」36号発行	
8月 2日	総会・懇親会	活動報告と意見交換(会場:レーイグラツツエふじ)
11月 8日	近畿くすのき会総会	本部から若干名が参加予定 (会場:ホテル京阪京橋グランデ)
1月下旬	第3回執行役員会	今年度の反省及び次年度の予定・各会計中間報告・その他
2月上旬	第3回理事会	第3回執行役員会と同内容
2月27日	同窓会入会式	新会員へ入会記念品を贈呈
3月 1日	同窓会賞授与	卒業式にて授与(全日制・定時制)
3月 1日	50年目の卒業式	昭和51年3月卒業会員を招待
備 考		“くすのき文庫”学校図書室に文庫本を贈呈予定 松山樟樹会総会は、令和8年開催予定

令和6年度 樟樹会一般会計収支決算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

項 目	6年度予算額	6年度決算額	備 考
前 年 度 繰 越 金	2,855,136	2,855,136	
入 会 金 (全 日 制)	2,600,400	2,574,000	780人×3,300円
入 会 金 (定 時 制)	29,700	19,800	2人×9,900円
運 営 会 費	1,000,000	672,000	200件 1口 3,000円から
贊 助 会 費	500,000	610,000	53件 1口 10,000円から
総 会 会 費 収 入	600,000	407,500	
雑 収 入	300,000	310,217	名簿販売・チャリティーバザー売上・預金利息
収 入 の 部 収 入 合 計	7,885,236	7,448,653	
会 合 費	1,200,000	731,150	総会経費等
慶弔 費	50,000	0	餞別
人 件 費	1,440,000	1,440,000	賃金
事 務 費	200,000	107,821	事務機器の保守点検契約料他
事 業 費 事 業 支 出 の 部 同 窓 会 賞	20,000	16,500	全日制 2名 定時制 1名
入 会 祝	350,000	469,590	全日制・定時制 卒業生へ記念品
支 部 活 動 費	350,000	225,000	各支部行事への参加他
旅 費	350,000	290,000	各支部行事への参加に掛かる旅費
生徒への補助金	500,000	450,000	全国大会出場補助・バザー収益金を寄付
その他の事業費	400,000	468,187	高校野球大会広告料・くすのき文庫に文庫本贈呈50年目の卒業式・チャリティーバザーの経費
通 信 費	200,000	255,568	電話代 郵送切手・葉書代
広 報 活 動 費	250,000	174,160	会誌「樟樹」購入費（事務局分）
ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 管 理	100,000	79,200	ホームページリニューアル
雑 費 ・ 予 備 費	200,000	116,579	振替加入口座手数料負担他
周 年 事 業 積 立 金	200,000	200,000	特別会計へ（8回目）
次 年 度 繰 越 金	2,075,236	2,424,898	(現 金) 20,000 (普通預金) 1,166,817 ゆうちょ銀行 (加入口座) 1,238,081
支 出 合 計	7,885,236	7,448,653	

玄関だより

東日本樟樹会

第17回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第17回総会と懇親会は、6月1日(日)東京都千代田区「アルカディア私学会館」で開催されました。来賓として同窓会本部から妹尾樟樹会会长と今井副会長をお招きし、出席者は総勢で51名でした。昭和21年卒業から平成20年卒業の方まで幅広い世代の同窓生が出席し、賑やかに開会しました。

総会では井上会長の挨拶の後、昨年度の収支報告及び役員改選が行われ、全会一致で承認されました。来賓の妹尾会長から心のこもった祝辞をいただい

た後、日野校長から届いた母校の懐かしい便りと心温まる総会へのメッセージを卒業同期の佐藤幹事が朗読し、出席者一同母校の思い出に浸りました。

昭和43年卒の檜垣様のご発声で始まりました。懇親会では、「新居浜市&西高クイズ」大会が各テーブル対抗で催され、懐かしい賞品(関東では入手困難な万長ラーメン)獲得を目指して、新居浜弁が飛び交う中楽しい時間を過ごすことができました。最後に新旧の校歌を斉唱し、懇親会を締めくくりました。因みに優勝チームは、来賓者チームでした。次回は来年6月7日(日)に同会場にて、第18回総会、懇親会を開催する予定です。多くの方が新居浜の香りのするこの会に参加されることを願っています。

大澤 明文(昭和44年卒)



近畿くすのき会

第28回近畿くすのき会総会・懇親会

近畿くすのき会は令和6年10月26日(土)、ホテル京阪京橋グランデに開催されました。

来賓として樟樹会本部より妹尾次郎会長、母校の日野右子校長らをお招きし、総勢約40名のアツトホームな会となりました。



曾我浩会長が

総会では、会員の交流を深めるために定期的に企画している「愛媛美食探訪クラブ」の現状などを報告し、参加を呼び掛けました。総会に続々、四国中央市出身で数々の人気テレビドラマや映画作品のシナリオライターとして活躍しておられる福田卓郎氏(昭和55年卒)に「作品と故郷と西高と」をテーマに講演いただきました。

次回は、令和7年11月8日(土)に同ホ

テルにて計画しており、講演会では大阪公

立大学教授の常定芳基氏(平成5年卒)に、

宇宙から届く宇宙線に関するお話を(仮)を

いただく予定です。皆様のご参加をお待ち

しております。

近畿くすのき会幹事

白石康平(平成5年卒)

松山樟樹会

第14回 松山樟樹会総会・懇親会

松山樟樹会総会は、今回で第14回となり、2年ぶりの開催となりました。令和6年9月14日(土)松山三越8階「AINO」で開催し、42名の参加となりました。

総会は、17時から加藤弘正会長(昭和52年卒)の挨拶の後、妹尾樟樹会会长から近況報告とこれからに向けてのお話がありました。その後、議事に移り、会計報告等、承認されました。

17時半から、昭和54年卒の石村和徳氏に

「アーティスト石村嘉成のキセキ」をテーマ

に、石村嘉成さんとともに、熱く楽しくお話し

いただき、参加会員

の皆様は、すごく聞き入つておりました。

全員で記念撮影後

懇親会では、恒例の太鼓台のDVDが流れ

る中、福德マリ子氏

(昭和51年卒)による

元気な司会のもと、高

田健司副会長(昭和49

年卒)による元気がで

る乾杯をしていただき、皆さんで、お互いに

近況報告しながら、楽しい時間を過ごしました。最後に、新居浜西高校音楽部後、加藤令史副会長(昭和51年卒)により、懇親会を締めくくりました。

次回は、2年後(令和8年11月)に開催する

予定ですので、松山にお住まいの同窓の皆様

はぜひご参加ください。

同
期
会
便
利

2025 くすのき VOL.36

12

太鼓台にさそわれて

杉山泰(昭和42年卒)



2024.10.16 リーガロイヤルホテル新居浜にて

秋が深まり人恋しくなる頃、耳を澄ませば聞こえてくる太鼓の音「どんどん」とんでもん。少年時代に胸を弾ませた「ソウルサウンド」は今も変わらず心に響きます。我々の同期会は、いつの頃からか4年に一度、秋祭りの初日に開催するものが恒例となっていました。前回がコロナで中止になつた時、「そろそろ潮時かな」とみんなが思っていた所、役員さん達の熱意と尽力により、今回何と8年ぶりの同期会が実現しました。何分にも高齢の域に達した我々のこと、出席者数も気になつていてましたが、意に反して男女各々20名余が元気な顔を見せてくれました。

8階の会場から見えるのは新居浜の原風景。この海岸線の工場群を懐かしみながら、西高時代の学校行事やクラブ活動、更には小中学時代に遡り、話題は尽きず笑いの渦。まだまだ物のなかつた時代に新居浜で生まれ育つた思い出が哀愁をおびて蘇つてします。中締めの後はイオンの夜太鼓を観賞し、締めは最後の体力を振り絞つてリーガのラウンジへ。いつまでも別れを惜しむ秋の夜長でした。

お疲れ様。遠くからあの太鼓の音。

近藤 良一(昭和63年卒)



樟樹会 新潟西高等学校同窓会

E-mail kusunoki@topaz.ocn.ne.jp
ホームページ <https://dousoukai.site/kusunoki/>
樟樹会ホームページがリニューアルされております。是非ご覧ください。

